

そつべつ議会だより



壮瞥中学校 卒業式

- 第1回定例会のあらまし 2
- 予算審査特別委員会 4
- 一般質問 16
- 薫風 20

No.81

□2021年5月□



発行 / 壮瞥町議会
編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

子ども医療費無償化を高校生まで拡充!!

令和3年第1回定例会は、3月4日から15日までの12日間の会期で開催されました。4名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。令和3年度一般会計予算についてのほか、議案22件、発議案2件を審議し、それぞれ可決しました。

第1回臨時会

第1回臨時会は、1月25日に開催され、一般会計補正予算についてを審議し、可決されました。

令和2年度壮瞥町一般会計補正予算(第13号)について

2,561万4千円追加

補正後の予算総額

43億9,861万6千円

新型コロナウイルスワクチン接種事業

1,125万8千円追加

新型コロナウイルスワクチンの接種時期について。

質疑

接種時期については、国において、ワクチンの確保や供給体制が検討されており、現段階では明確な時期を示せないが、接種に向け、準備を進めている。

答弁

課題となっている洞爺湖園地や水上レジャーの利用マナー向上と

質疑

ワクチンは2回接種になると思うが、同一の会社が提供するワクチンを2回接種するということがよろしいか。

答弁

同一のワクチンを2回接種することになっており、間違いのないよう、システム等を使って、接種を進める。

第1回定例会

洞爺湖園地船揚施設管理条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

1艇1日当たり1,500円の使用料を4,000円に引き上げる理由について。

答弁

課題となっている洞爺湖園地や水上レジャーの利用マナー向上と

質疑

環境整備を推進するため引き上げるもの。昨年、湖上の不法工作物の設置報道があったことから、洞爺湖町や関係団体と連携し、船揚施設を利用する舟艇を識別するためのチョッキ購入や、舟艇による湖上パトロール、野営禁止看板の設置等の経費に充て、利用マナー向上に努める。

壮瞥町乳幼児等医療費助成に関する条例及び壮瞥町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学生以下の医療費を無償化していましたが、令和3年8月1日以降、高校生以下(18歳になった年度末まで)も医療費を無償化することになりました。

壮瞥町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

質疑

今後の介護保険料の見通しと対

策について。

答弁

高齢化率の高い小規模の自治体にとっては、介護保険料は非常に大きな課題となっており、全国一律の制度運用においては、介護保険料を抑えていくことは非常に難しいと認識している。今後の見通しについては、第9期計画以降も保険料を上げていかざるを得ないと試算しているが、健康づくり支援や外出を促す取組等をきめ細かく丁寧に行い、元気な高齢者の多い町づくりを進めていくことが必要と考えている。



第1回定例会の様子

令和2年度壮瞥町一般会計補正予算(第15号)について
6,136万5千円減額

補正後の予算総額

43億6,378万5千円

高等学校施設管理事業

(庁用器具費)

206万円追加

質疑

高校に整備する温度計測装置付きプレハブ冷蔵庫の具体的内容と、高校でのICT化の現状と取組を伺いたい。

答弁

温度計測装置の付いた広さ2坪のプレハブ冷蔵庫で、タブレット端末とも連動し、鮮度保持技術の習得や品質管理の調査研究に活用する。地域産業を支える人材育成のため、デジタル装置等の環境整備によりICT教育の推進に努めたい。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

令和元年度、令和2年度に引き続き、令和3年度も議員報酬8%減額を決しました。これにより議員1名分の報酬額の削減が図られます。

令和3年度壮瞥町一般会計補正予算(第1号)について

8,656万7千円追加

補正後の予算総額

38億5,156万7千円

商工業振興緊急対策事業補助金

2,800万円追加

質疑

本事業の具体的内容について。



工事発注状況

令和2年12月から令和3年2月まで

()内は予定価格

- 上立香地区農業用排水路横断管修繕工
4,367,000円(4,554,000円)
壮建興業(株)
- 滝之町集落排水処理施設機器修繕工事
3,817,000円(3,954,500円)
kingエンジニアリング(株)北海道支店
- 久保内集落排水処理施設機器修繕工事
4,532,000円(4,693,700円)
kingエンジニアリング(株)北海道支店
- 公共施設トイレ改修工事
5,170,000円(5,280,000円)
(有)堀口水道
- 大川河道護岸整備工事
27,940,000円(28,809,000円)
道栄建設(株)
- 学校沢川河道護岸整備工事
13,420,000円(13,772,000円)
道栄建設(株)
- 久保内小学校電気幹線改修工事
5,654,000円(5,676,000円)
(株)堀口電気商会



壮瞥高校 J G A P 認証報告

答弁

商工会会員の事業継続と経営安定を図るため、商工会加入商工業者に一律5万円の定額補助と、令和2年12月から令和3年2月までの売上が前年比30%以上減少した町内の観光、飲食、宿泊等事業者に減少額の5%相当額(上限200万円)の補助をおこなうもの。

プレミアム付商品券事業補助金

1,440万円追加

質疑

本事業の具体的内容と実施時期について。

答弁

町民向けとして1セット5千円で1万円分利用できるプレミアム

付商品券を1,300セット販売する。商品券は町内の飲食、観光商店用で5千円分と農産物用で5千円分の利用ができる。また、町外の住民向けに1セット5千円で7千500円分利用できるプレミアム付商品券を2,000セット販売し、町内の飲食、観光、商店用で4千円分と農産物用で3千500円分の利用ができる。さらに、非課税世帯や高齢者世帯等の低所得世帯で、概ね180世帯を対象に、商工サービスイス用2千500円、農産物用2千500円の合計5千円の商品券を配布する。事業の実施時期は、6月から9月までの予定だが、詳細が決まり次第、広報等を通じて周知していききたい。

ビジット昭和金山

キャンペーン事業補助金

760万円追加

質疑

本事業の具体的内容と実施時期について。

答弁

深刻な影響を受けている昭和金山地区の活性化のため、昭和金山駐車場利用者に対し、地域限定で飲食や土産購入等に利用できる商品券を配布し、誘客と消費の喚起を促進する。実施時期は、ゴールデンウィーク後の5月から7月までを予定している。

備蓄計画に基づく防災備蓄品の整備を継続

令和3年度壮警町各会計予算状況

| 区分 | 令和3年度 | 令和2年度 | 増減 |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 一般会計 | 3,765,000千円 | 3,565,000千円 | 200,000千円 |
| 国民健康保険特別会計 | 462,800千円 | 463,800千円 | △1,000千円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 52,100千円 | 52,200千円 | △100千円 |
| 介護保険特別会計 | 387,300千円 | 379,900千円 | 7,400千円 |
| 簡易水道事業特別会計 | 224,000千円 | 283,500千円 | △59,500千円 |
| 集落排水事業特別会計 | 190,400千円 | 185,700千円 | 4,700千円 |
| 合計 | 5,081,600千円 | 4,930,100千円 | 151,500千円 |

社会資本整備を計画的に推進できる財政基盤づくり
令和3年度予算総額50億8160万円を可決!!

第1回定例会で予算審査特別委員会に付託された「令和3年度壮警町各会計予算について」は、予算審査特別委員会において、3月10日から12日までの3日間審議を行い、可決すべきものと決定し、15日の本会議で可決しました。

一般会計

歳出

総務費

総務管理費

一般管理費

役場庁舎等維持管理経費

1,307万8千円

質疑

修繕料について、役場庁舎発電機のバッテリー交換の目的と庁舎清掃委託料の値上がり理由は。また、職員自らがやっている庁舎内清掃について課題はないのか。

答弁

発電機バッテリー交換は、故障ではなく予防的に更新するものであり、庁舎清掃委託料の値上げは、主に委託業者の person 費

の値上がりによるものである。職員による清掃については、課題や不満は聞いていない。

質疑

役場庁舎窓口のビニール遮蔽シートは定期的に消毒しているのか。

答弁

不定期に清掃しており、今後適切に管理する。また、劣化や汚れが目立ってきたので、令和3年度にはアクリル板に更新する予定である。

法令等加除、図書購入事業

314万6千円

質疑

法令等加除、消耗品費の図書購入に係る減額の内容は。

答弁

全庁で毎年更新している実務

防災諸費

防災諸費一般経費

1,017万6千円

質疑

令和3年度に整備する防災備蓄品の内容はどの様なものか。乳児用ミルクも含めているのか。また、避難所看板の更新は何か所の予定か。

答弁

備蓄計画に基づき、みそ汁や缶詰などの副菜を各1,500食程度、その他飲料水等の整備を予定している。乳児用ミルクについては、価格や賞味期限の問題から、液状ミルクではなく粉ミルクで購入を検討中で、液状ミルクについても再検討する。

一般会計予算総額は37億6,500万円

火山災害、土砂災害、長流川氾濫被害を併せた防災マップを作成

避難所看板については全避難所分を予定しており、全部で16か所になる。

質疑

福祉避難所は、国のガイドラインに基づきバリアフリー化が望ましいが、現在指定している福祉避難所はバリアフリーではないが、支障ないか。

答弁

バリアフリー化が望ましいが、国の要件をすべて満たした施設を確保するのは現実的に難しい。福祉避難対象者には、車いす使用者以外にも、精神的に集団生活になじまない人など、様々な人が対象になっているので支障にならない人もいる。

今後、必要に応じて福祉避難所をさらに増やすことも検討したい。

質疑

防災マップを作成するのとことだが、どのような点に重点を置いて作成するのか。また、その利活用、配布方法は。

答弁

火山災害、土砂災害、長流川氾濫の被害想定区域を併せたマ

ップを作成し、居住地域の様々な災害リスクを認識してもらうことを目的としており、全戸配布のほか、公共施設にも掲示する予定である。

質疑

避難所看板の「ピクトグラム」とはどのようなものか。また、火山災害ハザードマップの見直しも予定しているのか。

また、町防災会議の委員に占める女性構成比はどの程度で、女性の意見を反映させるための工夫等は検討されているのか。

ピクトグラムとは図記号のこと

答弁

ピクトグラムとは図記号のこと。地域内外の誰もがすぐに避難所と認識できるように、国仕様準じて作成する予定である。

火山災害ハザードマップについては、避難所などの情報更新が必要なもののみ更新し、危険区域予測図自体の見直しは考えていない。

防災会議の委員は各構成機関が選出するため、現段階では構成比は未定であるが、委員に女性が少ないようなら、防災会議とは別に意見聴取の場を設けるなど、何らかの形で反映するよ

う努めたい。

質疑

防災マップや看板は何か国語で作るのか。

答弁

日本語、英語の2か国語程度を想定している。また、今年度これとは別に4市町の防災会議協議会で4ないし5か国語のマップを作製予定なので、それも活用していきたい。

質疑

町内にどのような外国人が居住、就労しているかを考慮し、多言語化したほうが良いのではないか。

答弁

少数の外国人のための多言語化であれば、手作業で個別に対応することも検討したい。

コミュニティFM放送局
事業負担金

321万5千円

質疑

コミュニティFMでは、災害時はどの程度行政情報を流せるのか。

答弁

協定に基づき、災害時には行政側の要請により、可能な限り対応してもらえらるものと認識している。



東京五輪ホストタウンオンライン調印式

財産管理費

公共施設管理事業
(指定管理者施設)

5,551万2千円

質疑

指定管理委託料の値上がりの理由は。

答弁

値上がりの主な要因は、従前町が行っていた小破修繕につい

街路灯のLED化を継続して実施

て、今後は指定管理者が行なうこととしたため、近年の小破修繕実績相当額を委託料に振り替えたことによるもの。

質疑

仲洞爺野営場について、有利な財源を活用して管理棟やトイレを更新しているが、今後、集客に繋げるため、どのような視点で施設運営していく考えか。

答弁

特に集客に繋がる計画等を策定しているわけではないが、近年、利用者が急増している一方で施設の老朽化が著しいことから、キャンプ利用者のニーズに対応できるように更新するもので、今後は、冬キャンプなどの新たな取り組みも検討したい。

質疑

指定管理者が4月から変わるにあたり、現従業員の雇用は引き継がれるのか。

答弁

最終的な確認はしていないが、新しい指定管理者としても、できる限り従業員を引き継ぎたいという意向を示している。

財産管理事業 一般経費

2,966万7千円

質疑

街路灯具取替工事、LED化の施工箇所数と今後の予定は。

答弁

総務課所管分として8基予定しており、次年度にも7基取替予定である。

財政管理費

財政管理費

個別施設計画作成委託料

110万円

公共施設等総合管理計画更新委託料

100万円

質疑

個別施設計画作成委託料と公共施設等総合管理計画更新委託料の内容は。

答弁

総合管理計画は、平成28年度に整備した現計画を、国の指針に基づき更新するもので、内容は概ね従前同様で、町全体の施設保有量や管理経費見込み等を示すもの。また、個別施設計画

については、総合管理計画に登載した個別施設ごとの維持管理方針等を集約したもので、対象は48施設の予定である。

質疑

総合管理計画は5年ごとに更新するものなのか。個別施設計画については、更新時期は決まっているのか。

答弁

定められているわけではないが、一定期間ごとの更新が必要と考える。なお、総合管理計画は特別地方交付税の対象となっている。これらの計画は起債や補助金申請に必要であり、今後更新していく予定である。

質疑

必要性は理解するが、既存計画の見直しなら、ある程度町職員で対応できないのか。

答弁

検討はしたが、再調達価格の算定などの専門性が求められ、また、全庁的な資料収集だけでも相当の事務量が発生することから、外部委託することとした。

町有住宅管理費

町有住宅維持管理事業

133万円

質疑

現在管理している町有住宅の戸数は。また、建て替えを検討している戸数は。

答弁

住宅数は39戸で、現在空き家が8戸。現在建て替えの予定はなく、住宅施策全体の中で今後検討していく。

企画費

企画費

ジオパーク推進経費

238万6千円

質疑

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会の1市3町の負担額は。

答弁

令和3年度は、4市町で97万5千円で、前年度は1千350万2千円となっている。

胆振線代替バスのあり方を見直し、検討を進める

地域公共交通対策事業

1,428万円

質疑

コミュニティタクシーの利用状況は。

答弁

年々微減傾向にはあるが、概ね登録者数は変わっていない。登録者へのアンケート結果によると、利用しない理由として、今は必要ではない、また、必要な時には利用する、という意見が多かった。

定住促進・まちづくり推進事業

729万6千円

質疑

WEBサイト保守管理・拡充委託料が、前年度よりも増額となった理由は。

答弁

町のホームページで、令和3年度から「移住者の声」を2名から4名に増やす経費と、トップページに「オンライン移住相談」を実施するための費用が増加の要因である。

質疑

移住体験メニューとは、どのようなものか。

答弁

移住体験施設を整備し、実際に壮瞥町で生活体験をしてもらい、壮瞥町を知っていただくもので、現段階で体験メニューはできていないが、今後検討を加え、移住・定住促進に繋がってきたいと考えている。

地域おこし協力隊事業

3,467万5千円

質疑

各種起業セミナー等負担金の増額理由と、具体的なセミナーの内容は。

答弁

地域おこし協力隊員が活動の中で各種セミナーや研修を受けるための負担金であるが、前年度は3名分の負担金を予算化していたが、令和3年度は、新たな隊員分も含め、計7名分の予算を計上した。

現段階でどのセミナーに参加するか決まっていないが、それぞれの隊員の希望により、各種セミナー等に参加することとなる。

胆振線代替輸送業務費

4,812万円

質疑

胆振線代替バス運行維持費補助事業

答弁

令和3年度中に、胆振線代替バスのあり方を見直し、検討する予定である。

民生費

社会福祉費

後期高齢者医療費

後期高齢者医療療養給付費負担金

5,120万5千円

質疑

北海道後期高齢者医療広域連合が推計する令和3年度の医療給付費に基づき、本町の負担金額が算出されることだが、その算出の仕組みについて伺いたい。

答弁

本人負担分を除いた医療給付費のうち、各医療保険、国庫支出金及び道支出金を除いた医療給付費8%分について町が負担するものである。

心身障害者福祉費

障害者自立支援費

介護給付・訓練等給付費扶助費

1億6,150万円

質疑

介護給付・訓練等給付費扶助費の予算額が前年度よりも増額となった理由は。

答弁

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、給付対象者が実家等へ帰省できず、施設の入所日数や利用日数が増加したこと、050万円の増額補正を行ったが、令和3年度においても、同様の状況が継続すると予想されることから、令和2年度補正額と同額を増額して予算計上した。

保育士確保により待機児童の解消を図る

障害者自立支援医療扶助費(更生医療)

110万円

質疑

令和2年度では、人工関節手術2件分の対応のため、380万円を増額補正しているが、令和3年度の対応はどのように考えているか。

答弁

これまででは、人工透析等を念頭に予算を計上してきたが、昨年人工関節手術のケースも発生しており、今後も状況を注視しながら対応していきたい。

児童福祉費

児童措置費

保育及び子育て環境整備事業

6,653万6千円

質疑

保育所の会計年度任用職員の報酬予算額が前年度より増えているが、保育士不足を解消するための人員が確保できたということか。

答弁

待機児童が生じないよう、各

家庭への保育所利用調査や保育士募集等の作業を早めに行なったことで、保育士の必要人員を確保できたことによる予算計上である。



そうばつ保育所 節分豆まき

衛生費

保健衛生費

保健衛生総務費

会計年度任用職員報酬

381万6千円

質疑

前年度よりも増額の理由は。

答弁

看護師1名分、事務補助員1名分を見込んでいる。

一次救急医療確保対策事業負担金

247万9千円

質疑

前年度よりも増額の理由は。

答弁

西胆振4市町と医師会との協定に基づいて、一次救急搬送の増加分として計上している。

周産期医療確保事業負担金

163万8千円

質疑

前年度よりも増額の理由は。

答弁

新生児の集中治療室等の病床1室当たりの単価が決められているが、昨年度よりも単価が上がっているため。

予防費

各種予防接種事業経費

710万3千円

質疑

町内高齢者のコロナワクチンの接種時期はいつ頃になるか。また、会場への送迎も考慮すべきではないか。

答弁

現段階の見通しとしては、4月からの接種は難しく、5月以降となると予想される。送迎に関しては、民間業者と協議をして対応を検討したい。

質疑

土日の接種は可能か。

答弁

医療機関の医療日程の中での対応となっているが、今後の検討課題としたい。

予防接種委託料

605万3千円

質疑

前年度比105万円程の減額となっているが、その理由は。

答弁

令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、予防接種をされる方が少なかった。令和3年度も同様に予想されるので減額したものである。

不妊治療費助成金

100万円

質疑

内容はどのようになっているか。

町独自の就農助成金等を活用し、就農環境整備を継続して推進

答弁

令和2年度は、一般の治療2件、特定の治療1件分を予算計上していたが、それぞれ1件ずつ増えたため、令和3年度も同様に計上した。

産後ケア事業委託料

42万6千円

質疑

どのようなサポートを行う事業なのか。

答弁

短期入所・通所サービス・訪問相談の3通りで、短期入所は3回分、通所サービスと訪問相談は、それぞれ5回分を見込んだ予算となっている。

清掃費

塵芥処理費

資源ごみ回収委託料

2,140万円

質疑

前年度よりも増額の理由は。

答弁

北海道の作業単価により積算しており、その単価増が理由で

ある。

消耗品費

45万2千円

質疑

前年度よりも増額の理由は。

答弁

エコポストが老朽化により破損しており、更新に必要な経費を計上した。

西いぶり広域連合負担金

5,621万8千円

質疑

施設改修の必要により前年度よりも増額となったとのことだが、その内容は。

答弁

令和2年度から4年度までの現廃棄物処理施設の改修費で、年間4億円ほどかかるが、本町分として約1,300万円から1,500万円程の負担となる見通しである。

農林水産業費

農業費

農業振興費

新規就農支援対策事業

483万9千円

質疑

令和2年度から実施されているキャリアサポートを含む就農フェアの内容と、新規就農者及び就農後継者就農助成金の内容は。

また、農業次世代人材投資事業補助金の内容は。

答弁

キャリアサポートについては、令和2年度で北海道立農業大学校からは45名の参加があり、札幌で実施の就農フェアでは1回目4名、2回目が8名で計12名のエントリーシートをいただいた。内容は新規就農、雇用就農を含めて、町の職員と農家が一緒になって参加し、壮瞥町のPRを行ってきた。

就農助成金については、町独自の新規就農者への助成事業で、年度末に1年間の就農研修を終える就農予定者が、新年度4月から本格的に就農を開始するた

めの機械取得や用地取得の助成をするもの。

次世代人材投資事業については準備型と開始型があり、準備型は研修に関する助成、開始型は就農の際の助成で、今回は開始型になる。最大で150万円を最大5年間受けることができ、1年目は150万円、2年目以降は前年度の収入に応じて金額の変わる可能性がある。



そうばつくだもの村 北海道産業貢献賞表彰

堆肥センター運営事業

2,239万9千円

質疑

堆肥センター運営状況資料の中で、堆肥生産量が令和2年中

堆肥センター堆肥の購入働きかけを積極的に行っていく

月末現在と前年度末までの数字に大きな開きがあるが、その内容と、令和2年12月末までの販売状況は。

また、令和3年度の堆肥売り払い収入を900万円と見込んでいるが、堆肥生産量の見込みと堆肥の販売方法についての考え方は。

答弁

12月末での数字は年度途中の数字であり、3月末での生産量が出ていないが、概ね3割増しの数字になる見込み。販売状況は12月末現在765万2千3百円となっているが、3月末での実績見込み額は出ていない。

令和3年度の堆肥生産量は、バラ堆肥を1,333m³、袋堆肥で1万袋(400m³)、合計で1,700m³程度を見込んでいる。販売は職員が個別に農家に購入働きかけを行っていく。実績は平成30年度が45件、令和元年度が47件、令和2年度が68件と年々伸びている状況。

質疑

令和2年度実績はコロナ対策の補助事業であったこともあり、バラ堆肥で150万円ほど伸びているが、購入の殆どは町内農

家であり、令和3年に向けての使用準備目的だと思うが、3年度の売り上げ目標900万円を達成できるのか。

また、目標達成のために袋堆肥販売も強化すべきでは。

答弁

今年度、売り上げが伸びたのは、コロナ関連の補助事業があったということもあるが、営農は継続事業であり、今年度購入した農家に対し、今年度も使っていただけのような営業し、収益性をあげる取り組みをしていく。

質疑

施設管理業務委託料が減少しているが、その要因は。また、堆肥販売委託している店舗数は。

答弁

業務の見直しを行ったことと、これまでは重機類の車検手数料や保険料、税金等の費用を委託料の中で予算化していたが、新年度予算では別計上とした。販売委託の店舗数は町内が4店舗、伊達市が1店舗となっている。

農業研修シェアハウス運営事業
105万7千円

質疑

利用状況と今後の展開は。

答弁

令和2年度の利用状況は4月5月が4部屋、6月が3部屋、7月が4部屋、9月が3部屋、10月〜2月が2部屋、2月に1人の退室があり3月は1部屋となっている。月毎の平均利用率は53.3%で、年度比較では昨年が68.3%、一昨年が46.7%で、平均的な利用率になっている。

新年度の歳入予算では5部屋のうち、4部屋分の使用料を予算化しており、1部屋は短期利用者のために確保しておく。また、2月で退室された方は町内で雇用就農しているが、伊達市に転居している。

経営所得安定対策直接支払推進事業
163万5千円

質疑

本事業の会計年度任用職員役割は。

答弁

令和元年度から採用しており、玉ネギやブロッコリー等、作物の産地化が進む中、事務が複雑化していることから、農協と分担して事務を行っている。

環境保全型農業直接支援対策事業
104万1千円

質疑

本事業の内容は。

答弁

有機農業の取り組みとして、農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図るため、環境保全に効果の高い営農活動に対し支援を行う事業で、10アールあたり1万2千円の補助があり、補助は国が2分の1、道が4分の1、町が4分の1となっている。

畑作構造転換事業
90万円

質疑

本事業の内容は。

答弁

甜菜などの畑作営農の大規模

鳥獣被害防止のため、国の交付金を活用し、計画的に複数年で対策

化に伴う労働力不足、気象災害や病害虫リスクの軽減を図り、畑作地域の生産性向上に向けた取り組みを支援する事業で、10アールあたり3千円を補助し、令和3年度の受益農家は28件で対象面積は3千アールとなっている。

農地費

多面的機能支払事業

540万9千円

質疑

多面的機能支払交付金について、対象が農振農用地区域内の農用地となっており、町内で壮警温泉地区や仲洞爺・東湖畔の一部はこの事業に該当してこないといわれているが、多面的機能の観点から知事が必要と認める農用地として該当しないのか、見解は。

答弁

壮警温泉地区は都市計画区域であったり、仲洞爺・東湖畔は農地の連たん性等の問題や土地利用に関する法律上の規制があったりするので、個別の条件によって解決できるかは言えないが、相談には応じる。

林業費

林業振興費

有害鳥獣関係

433万2千円

質疑

令和2年度の囲いワナの捕獲実績と囲いワナ改善についての考え方は。

答弁

令和2年度は、東湖畔林道で4頭、南久保内で8頭の実績があった。駆除協力謝金は、ワナの餌の設置を猟友会の方にお願しているもの。囲いワナの改善については近隣市とも情報交換を行っていききたい。

質疑

電気柵に関する要望が多いと聞いているが、予算を当初から計上していない理由と今後の効果的施策は。

答弁

令和2年度では、電気柵関連予算をコロナ対策の事業として補正し、34件の利用実績があり、元年度も補正で対応し10件ほどの実績があった。令和3年度当初で予算化していないのは、効

果的な対策について鳥獣対策協議会の中で協議しており、国費事業の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、対策協議会が事業主体となって、個別対応ではなく広い範囲を計画的に複数年で対策しようと考えている。

質疑

害獣駆除委託料の増額理由は。

答弁

令和2年度では当初100頭分の駆除を予算計上したが、コロナ対策補助で130頭分を追加補正した。令和3年度では210頭分で予算計上したものの。

資源循環林・水土保持林整備事業

1,181万6千円

質疑

令和3年度の森林環境保全整備事業の内容と増額の理由は。

答弁

事業内容は、下刈り面積が43.34ha、間伐が9.12ha、保育間伐が1.2haの作業を行う予定で、増額分については北海道が示す下刈りの標準単価が変わったもの。

森林環境譲与税関係

205万8千円

質疑

森林GIS保守管理委託料の内容は。

答弁

森林台帳を電子化しており、森林の所有者の変更や地籍等の情報について、そのデータの入れ替え・更新作業を専門業者に委託するもの。

林道維持費

林道維持補修経費

444万1千円

質疑

林道の維持補修作業の内容と、補修に必要な砂利の容量は。

答弁

グレーダーで道路のワダチや洗掘箇所を均して整正し、その際、支障となる樹木等の伐採や枝払いも行い、作業時間は40時間を見込んでいます。また、砂利の必要量は190mを見込んでいます。

洞爺湖適正利用のルールブックを作成、配布

水産業費

水産業振興費

内水面漁業支援事業

263万円

質疑

孵化場屋根等大規模改修事業経費について、洞爺湖漁協の組合負担の考え方と行政負担に関する壮警町、洞爺湖町との意見交換の内容は。
また、漁協の活動状況は。

答弁

組合から支援の要請を受けて両町で協議を行った。経営が厳しい状況にあり、漁協の水産資源や、環境保護に寄与していることを考慮して行政も負担することになった。

漁協の活動状況は購買事業として漁業資材の受託購買、販売事業として漁獲物その他生産物の販売、自営事業としてサクラマス稚魚・ワカサギ卵・ワカサギ加工品等の販売、指導事業として水産動植物の繁殖保護と水産資源の管理、その他漁場の利用に関する施設の管理、共同漁業権の管理等を行っている。

商工費

商工費

商工業振興費

新商品開発・販路開拓支援補助金

120万円

質疑

新商品開発補助金の活用実態とその後の町内に向けての積極的PR活動を行う考えは。

答弁

そうべつフレッシュプラザで平成28年度に壮警産米を使った甘酒開発、平成30年度にリンゴビールの開発に活用している。



壮警産キャンベルロゼワインお披露目会

観光費

洞爺湖園地等管理事業

677万2千円

質疑

昨年度から特産品開発支援事業補助金でグルメマルシエ事業と一体化して新商品開発事業者の発信の場として取り組む考えであったが、新型コロナウイルスの影響で、できなくなった。
今後はより多くのPRの場を増やして行きたいと考えている。

洞爺湖適正利用推進連絡協議会において動力船利用のルールを決めているが、事前に利用者等にルールを伝えておく必要があるのではないのか、また、動力船の禁止区域・徐行区域はわかるが、水域利用調整区域とはどのような区域か。併せて仲洞爺キャンプ場からの動力船の乗り入れ禁止、さらには帆のついたヨット・サーフィンも禁止となっているが、問題があったのか。

答弁

利用者へのルールの徹底については、今後ルールブックを作成し配布する考えであるが、今のところはホームページ等で配

信していきたいと考えている。

水域利用調整区域とは道のプレジャーボート条例で非動力船の走行の安全を期すために定められている区域で、動力船は入れない。しかし、営業艇等は事前申請により許可を得ることで走行が認められている。

仲洞爺キャンプ場の動力船乗り入れは、過去にチップ吊り解禁時にトラブルが多発したため禁止となっており、遊漁船の乗り入れ場所は洞爺湖町の月浦地区だけである。

質疑

今後の洞爺湖園地等でのルール無視、マナー違反者に対する対策方法は。

答弁

観光振興を図りながら規制をしなければならぬ難しい対応ではあるが、ルール違反者に対しては巡視等を強化し厳しく対応していきたいと考えている。

洞爺湖生物多様性保全協議会負担金

78万2千円

質疑

令和2年度のウチダザリガニ捕獲の実績と繁殖状況は。

町内橋梁の長寿命化計画の策定と計画的な修繕の実施

答弁

令和2年度の捕獲頭数は7万4,919匹で、令和元年度より2割程度増えており、生息域についても洞爺湖全域に広がっている状況だが、捕獲を強化していくことで成長を抑えている。

質疑

捕獲したウチダザリガニを食用としての利用は考えられないのか。

答弁

養殖や他の湖沼への持ち出しにつながりかねないので、保全協議会では食用としない方針である。

土木費

土木管理費

土木総務費

町道測量等委託料

170万円

質疑

委託する道路台帳の修正業務とはどのような内容なのか。自前ではできないものか。

答弁

町道と接している国道、道道の線形変更があった場合、道道の延長、台帳図、統括表等の修正が必要で、作業内容は多岐に亘るので業者委託している。

道路橋梁費

道路橋梁維持費

8,196万6千円

質疑

既存道路の舗装改修について、以前は「町道舗装等改修工事」として計上して、計画的に事業化していたが、その必要はないのか。

答弁

平成30年度までは主要道路の舗装改修を予算計上していたが、ほぼ改修を終えたため、現在は道路パトロールの上、必要な箇所を部分的に行っており、修繕費で支出している。

道路新設改良費

橋梁点検業務負担金

2,000万円

質疑

点検業務の後の町の対応はどのようになるのか。

答弁

この点検業務は市町村支援連絡協議会の一括発注を活用して行うもので、1,287万円の国庫補助金が交付される。町内28橋の内26橋で行い、これに基づき長寿命化計画を策定し、計画的に修繕していく。

都市計画費

公園費

ジオサイト管理委託料

52万1千円

質疑

鉄橋遺構公園の駐車場周辺の草刈を行っていると思うが、現在閉鎖している階段下の草刈りを行わなくてもいいのではないのか。

答弁

階段は閉鎖して使われていないが、国道に面しているので、景観を考慮して今後も草刈を行う考えである。

消防費

消防費

消防費

消防費

1億6,255万4千円

質疑

壮警支署の救急出動件数は。また、現署員数での対応に問題はないのか。

答弁

令和2年度、壮警支署の出動回数は280件で、町内での救急要請は118件となっており、両方とも前年比30%減となっている。

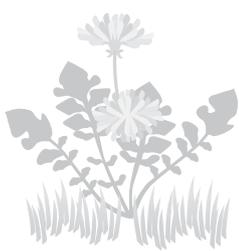
現署員数では業務が重なった時に即時対応が難しいこともあるが、常に消防本部が連絡調整して補完する体制を取っている。

質疑

壮警消防団費で火災出動費等費用弁償が増額している理由は。

答弁

新年度は3年に1度の胆振消防操法大会があり、大会に向けた訓練回数が増えるもの。



英語教員を加配し、小学校への乗入れ指導等も実施する

教育費

教育総務費

教育委員会費

事務局事業

1,572万円

質疑

昨年まで室蘭市と共同運営していた情報教育ネットワークショップの負担金が計上されていない理由は。

答弁

「GIGAスクール構想加速化事業」で整備したインターネット環境により、従来より安価に利用可能となったため、室蘭市との共同運営から外れた。

学校給食運営事業

1,583万9千円

質疑

伊達市に事業委託し、伊達市と食育センター運営会社が業務契約を結んでいるが、契約内容の更新は毎年行うのか。また、委託料が上がった理由は。

答弁

食育センターになってからは、献立内容から業務内容まで、毎

年見直した上で契約更新しており、人件費アップが委託料増に繋がっている。

質疑

食育センターでの地元食材利用の現状は。

答弁

特色ある給食提供として、地場産品も使用しており、直近では壮警産の卵が使用されている。

小学校校費

学校管理費

小学校運営事業

1,366万4千円

質疑

北海道教育委員会の支援により小学校に配置されている「地域学校協働活動推進コーディネーター」の役割は。

答弁

地域と学校の連絡調整、情報共有、学校活動の企画運営等、学校と地域との協働活動を進める調整役で、「コミュニケーション」と併せ、車の両輪となって地域に開かれた教育課程に取り組んでいく。



壮警小学校 卒業式

質疑

小学校だけでなく、中学・高校にも配置し、更に統括するコーディネーターを配置してはどうか。

答弁

理想的ではあるが、経費の問題もあり、今後の課題として検討したい。

中学校校費

学校管理費

中学校運営事業

1,319万9千円

質疑

壮中だよりに「3年生の総合

学習の時間に、町長が訪問し、講演の後、政策提言を受けた。」とあったが、どのような内容だったのか。

答弁

例年実施している「子ども議会」に代わるもので、町長からまちづくりについての講話の後、壮警町の将来を見据え、「ゆるキャラ作り」や「豊富な食材を生かした食品開発」、「雪合戦や剣道などスポーツ体験型の誘客」、「エコタウン構想」等の提言があった。何れも町の良い所、魅力を認識した上でのものであり、頼もしく感じられた。生徒にとっても実践的学びと地域に関心を持つ機会となった。

質疑

英語教員の加配を申請し、小学校への乗入れ指導等も行うとのことだが、その具体内容は。

答弁

北海道教育委員会の「指導方 法工夫改善加配制度」を利用して加配されるもので、教員2名体制で授業を行うほか、小学校にも出前授業を行い、小中学校連携による継続した教育を進める。

令和3年度から5年度までの介護保険料基準額月額6,600円

高等学校費 地域農業科実習費

816万2千円

質疑 地域に貢献する高校づくりの実践は。

答弁

保育所、小学校との交流や、道路沿いの花壇整備、アンテナショップ恵（めぐみ）や、朝市や収穫祭の開催等、地域に密着した取り組みを通して地域貢献に繋がっていると考える。

質疑

今後の地域に根差した地域農業科としての取り組みは。

答弁

JGAPの取り組みや、販売実習、農業現場研修、スマート農業やICTの取り組み等を学び、地域に貢献できる人材育成に努め、社会の要請に応えていきたい。

質疑

ICT活用や、スマート農業の中でも、施設自動管理システ



壮瞥高校 卒業式

ムやドローンの活用は比較的取り組みやすい分野なので、学習の機会を持ち、その上で地域に情報発信してはどうか。

答弁

今般整備される温度計測装置付きプレハブ冷蔵庫は、収穫物の鮮度保持、品質管理等についての研究が可能で、正にICT活用の学習機会ともなり、今後もICTやスマート農業等の先進的農業を学ぶ機会を持つていきたい。

国際交流費

国際交流費

中学生フィンランド国派遣（海外研修）事業

2,475万円

質疑

コロナの影響により万が一派遣できなかった場合の対応策は考えるのか。

また、オンライン交流等の代替案も検討してはどうか。

答弁

今後の諸条件の中で対応策を検討したい。

また、道内フィンランド協会と連携し、交流会の開催も考えられる。

介護保険特別会計

歳入

保険料

介護保険料

7,052万円

質疑

壮瞥町の介護保険料は、制度創設時、全道で1番高く設定されていた。

今回の第8期でも全道平均よりもやや高めとなっているが、介護予防メニューの実施等、保険料軽減につながる施策にも取り組んでおり、それが国の交付金にも反映されている。今後も

軽減のために機能低下防止メニュー等、きめ細かな取り組みをする考えがあるか。

答弁

年々高齢化が進む中、第8期計画では第5段階における保険料基準額月額を6,600円と設定した。

国からも、制度の安定的な運営のための取り組みが求められており、今までの施策に対しても一定程度の評価をいただき、交付金増にもつながっている。今後も継続して「きめ細かな対応」を念頭に実効性のある施策を進めたい。



第8期介護保険事業計画 答申



「町子ども・子育て支援条例 理念達成のために」

Q 子ども・子育て支援策の
取りくみ内容は

A 高校生までの医療費無料化・
支援による負担軽減



佐藤 志

を入れていきたい

担は100万円を見込み、
8月1日から実施する。

5千円ずつ5万円を贈呈。
対象者60人を想定、事務
費を含め315万円を計
上している。

度。道内での実施は20町
村程度と承知している。

「子ども・子育て支援
法」で、町の子育て支援
事業計画に位置づけを規
定しているが、いつ行う
考えか。

議員
子ども・子育て支援条
例を制定したが町民の理
解(認識)度は。

町長
目的の理解・周知に
努力

議員
新年度取り組む条例の
基本理念を達成するため
の事業内容は。

議員
子育て応援祝い金事業
の内容と対象者は。

町長
条例制定の目的は、誰
もが安心して子どもを産
み育てることができると
子どもの生きる力を養い、
健やかに成長する環境整
備が基本理念である。

町長

住民福祉課長

条制制定後、広報や町
のホームページに掲載、
周知してきたが、コロナ
禍の影響で、子育て世代
の方々への理解促進のた
めの対応として懸念され
る点もあったのではと考
えている。

議員
高校生までの医療費の
無料化
祝い金制度の創設実施
令和3年度から、現在
の中学生までの医療費無
料化を高校生まで拡充。
また子育て支援祝い金事
業の創設、子育て世代包
括支援センターの開設等
に取り組む。

議員
就学時の祝い金給付内
容は。

新年度はこの条例に基
づく支援事業実施時には、
改めて条例の目的の理解
を深めるよう、周知に力

住民福祉課長
対象者は60人、財政負

住民福祉課長
小・中・高の入学時に
子育て応援祝い金事業
で、就学祝い金として、
小・中・高の入学時に、
現金と商工会商品券2万

子どものおむつ等、排
出するごみ量が多くなる
0歳児から満2歳児のい
る世帯に、可燃用ごみ袋
月10枚を給付、子育て世
帯の経済負担の軽減を図
ることを目的に実施。財
政負担は年間で11万円程

議員
子ども・子育て支援法
第61条で定める「町子ど
も・子育て支援事業計画」
に、今回取り組む支援内
容を加えるために、「町
子ども子育て会議」に諮
り、同意を得て北海道に
提出、3月中に承認を得
るよう取り進める。

住民福祉課長

子ども・子育て支援法
第61条で定める「町子ど
も・子育て支援事業計画」
に、今回取り組む支援内
容を加えるために、「町
子ども子育て会議」に諮
り、同意を得て北海道に
提出、3月中に承認を得
るよう取り進める。

住民福祉課長

議員

子ども・子育て支援法
第61条で定める「町子ど
も・子育て支援事業計画」
に、今回取り組む支援内
容を加えるために、「町
子ども子育て会議」に諮
り、同意を得て北海道に
提出、3月中に承認を得
るよう取り進める。

住民福祉課長

議員

子ども・子育て支援法
第61条で定める「町子ど
も・子育て支援事業計画」
に、今回取り組む支援内
容を加えるために、「町
子ども子育て会議」に諮
り、同意を得て北海道に
提出、3月中に承認を得
るよう取り進める。

住民福祉課長

議員

子ども・子育て支援法
第61条で定める「町子ど
も・子育て支援事業計画」
に、今回取り組む支援内
容を加えるために、「町
子ども子育て会議」に諮
り、同意を得て北海道に
提出、3月中に承認を得
るよう取り進める。

住民福祉課長

議員

子ども・子育て支援法
第61条で定める「町子ど
も・子育て支援事業計画」
に、今回取り組む支援内
容を加えるために、「町
子ども子育て会議」に諮
り、同意を得て北海道に
提出、3月中に承認を得
るよう取り進める。

住民福祉課長

議員



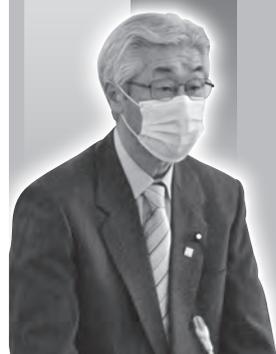
壮瞥小学校 入学式

いっぱん

【教育現場におけるコロナ対策について】

Q 教育・子育て中での対応は

A 文科省の衛生管理マニュアルに基づき行っている



毛利 爾

校している児童・生徒はいるのか。また、その場合には、どのような対応になるのか。

教育長

現在、当町では自主休

校している児童・生徒は
いないが、保護者から申
し出があれば、校長が認
めて、欠席ではなく、出
席停止とすることができ
る。

議員

保育所は、昨年の一斉
休校時も開所し、保護者
の就業支援の立場でもあ
り、エッセンシャルワー
カーでもある。何らかの
対応が必要では。

住民福祉課長

町の制度的には対応で
きないが、今後、どのよ
うな対応が行えるか検討
していきたい。

議員

保育所・校内の消毒は
誰が行っているのか。

生涯学習課長

高校では、今後も校務
補に負担がかからぬよう
取り組んでいく。

町長

保育所では、毎日3回
保育士が、小中学校では
スクールサポートスタッ
フが、高校では校務補が
行っている。

議員

文科省の、学校におけ
る新型コロナウイルス感
染症に関する衛生管理マ
ニュアルとはどのような
ことか。

生涯学習課長

感染した時の偏見や家
庭での対応と、コロナウ
イルスについての教えは。

議員

給食時に会計年度任用
職員が、自宅に帰ってい
ると聞いたが、交通費の
対応は。

議員

保育所・高校への支援
は。

生涯学習課長

学校における感染症の
現状と分析、対策の考え
方、学校や教育委員会の
役割、児童・生徒への指
導、集団感染へのリスク
の対応など、細かく分か

議員

当町において、自主休

住民福祉課長

通勤手当支給対象外の
職員が、昼食を取るため
自宅へ帰っているが、そ
れにより新たに交通費が
発生することはない。

住民福祉課長

保育所は通常業務でこ
れまで行っており、今後
も継続していく。



そうべつ保育所 卒園式



【新型コロナウイルスワクチン接種の進め方について】

Q ワクチン接種の具体的な進め方は

A 町内2カ所で集団接種方式により実施したい



森 太郎

議員 接種に向けた事務体制は。

町長

接種を円滑に実施するため、事前準備、情報収集の一元化や業務分担を明確にした体制整備が重要と考え、保健センターを中心とした体制で接種券等の印刷準備、住民相談体制、医療機関等との調整、予防接種計画の作成等を進める。

接種業務は大幅になることが見込まれるため、副町長を中心とした全庁的な実施体制で業務を進める。

議員 接種形態と接種会場は。

町長

国の方針では、接種は地域の実情に応じて決定するとされており、医療機関と協議した結果、集団接種方式により実施する方向であり、保健センターと農村環境改善センターの2カ所で接種を考えている。

医療機関の入院患者や福祉施設入居者は、嘱託医とも相談しながら、施設内で接種する。

議員

ワクチン管理上の課題は。

町長 有効性を保つため、冷凍状態での運搬や保管が必要とされ、超低温冷凍

庫が町内に設置される。適切に管理できる人材が必要であることから町内医療機関に設置し、管理する。

議員

接種に関わる医師や看護師等の確保は。

町長

検温や本人確認、予診や接種業務のため、医師や看護師、事務人員を含め12名程度の体制になる。本町では医師1名、看護師2名が最低必要であり、医療機関と調整を進めている。

議員

具体的な接種スケジュールについて。

町長

国の定めた接種順位は、最初に医療従事者、次に高齢者、基礎疾患を有する方、一般の方へと接種を進める。

3月1日時点での接種対象者は、65歳以上の方が1,022人、その他一般の方は1,168人となっており、接種に要する期間は、65歳以上の方だけで2ヶ月程度を要すると見込んでいる。

一般の方については、現時点でワクチン供給時期が示されていないので、具体的日程は見通せないが、本年度の接種時期は令和4年2月28日までと指示されており、接種に関する情報を町民に速やかに伝えながら対応していく。

議員

非接種者への課題と対応は。

町長 新型コロナウイルス接

種は、予防接種法に基づく臨時接種であり、国の指示により市町村で実施するものだが、強制ではなく、努力義務とされている。16歳未満は接種の対象外であり、妊婦または妊娠の可能性のある女性には安全性データが限られているため、努力義務が適用されず、主治医と相談し判断することになる。また、接種対象者が当初に接種を希望せず、その後に接種を希望する場合は、柔軟に対応していく。



壮瞥高校 入学式

いっぱん

【主要施策の取り組みについて】

Q 施策展開の方向性と具体内容を問う

A 財政基盤を整え必要な社会資本整備等に努める



松本 勉

商工業・観光業の振興

議員

商工会と協議しているという「小規模事業所の振興に関する条例」制定の目的とその概要、協議の進捗状況は。

また、厳しい状況下にある観光業に対し、経営持続化支援を含め、地域活性化に資する町独自の施策の内容は。

町長

小規模企業の振興と地域経済の活性化を図ることを目的に、基本理念を定め、町の責務と事業者及び商工会の役割を明らかにするもので、今後商工会と協議を行い条例制定の準備を進める。

観光業への支援では、町独自で実施した「事業継続支援」や「ビジット昭和新山キャンペーン」

「プレミアム付商品券」などを新年度も継続し、国、道とも連携して経済活性化に取り組む。

子育て世代に選択されるまち

議員

妊産婦から子育て期までの相談や支援を行うため設置される「子育て世代支援センター」の機能と役割は。

また、新たな子育て支援施策の具体内容は。

町長

妊産婦及び乳幼児が安心して健康的な生活ができるように、保健センターの機能を生かし「母子保健型」の支援センターを今年度末までに設置し、出産後育児や体調面で不安のある母子をサポートする「産後ケア事業」等も

行っていく。

新たに「高校生までの医療費無料化」、出産や就学時の「子育て応援祝い金事業」、乳幼児のいる世帯を対象に「子育て応援ゴミ袋配布事業」を行う。

健康と生きがいのあるまち

議員

そうべつ温泉病院の転出が発表され、地域医療への影響が懸念されるが、今後の町の対応は。

これから検討するとしている、高齢者の生きがいづくりを主な目的とした、人材を活用する体制づくりの具体内容は。

町長

病院からは町の医療に対する役割は今後も果たしたいと言われており、

移転後の地域医療体制等について病院側としっかり協議して地域にふさわしい医療の在り方を検討していく。

高齢者が培った経験や知識、技術を社会に生かすとともに、社会活動への参加を促進する体制づくりを検討していく。

移住定住・関係人口の拡大

議員

本町の生活環境の優位性を生かして強化していくとした人材や企業の誘致に向けた取り組みの具休内容は。

町長

移住体験住宅の整備や、オンライン移住相談、ホームページやSNSによる情報発信も継続強化し、地域おこし協力隊との連携、協力の上、移住定住人口及び関係人口の増加に取り組みたい。

基金減のない財政運営

議員

財政の収支改善を着実に進めていることを評価する。その上で、事務事

業評価の具体的な進め方、視点を問う。

町長

各課において、事業別決算額の推移を把握した上で既存事業を分析し、継続の必要性や規模、財源確保等、歳出の削減、効率化に努めた。また、理事者査定において事業の目的、効果の妥当性、住民ニーズや公平性などを視点に、施策の役割や事業規模、財政措置等、施策を構成する様々な要素について細かく検証評価した。



壮瞥中学校 入学式

『回道月歩の看護の道を歩いて60年』

熊谷 純子



進学に悩み迷っている時、母から「前から考えとったばってん、

看護婦さんが良かじゃなかね。きつか仕事じやろが、あんたには、できるばい。」この一言で、うん、やってみっでなと、看護の道へ出発、熊本県の第1回生で先生も生徒も初めてで、友達のような中で卒業した。

看護師になってからは、新人として迷うことばかり。現在のよう新しい器具、衛生材料、設備もなく、その上、病名まで違い、今では、ほとんど耳にしない法定伝染病12種類があり、ジフテリア、

百日咳、日本脳炎等。

中でも以上の三病気は、幼児・低学年に多く、現在のように薬剤の低いものもなく、両親の腕の中での旅立ちを、ただただ呆然と佇むことしかできなかつたこと、今だったら言葉だけでもかけてあげられた、と残念で忘れることはありません。

私生活では、子どもを保育所に忘れて、朝、目が覚めて、子どもが居ないのに慌てて、「ごめんね」と迎えに行き、保育士さんからは「仕事だったんですね」と。黙って顔を上げられなかつたのが忘れられません。息子に話すと「母さんらしいなあ」と言われ、少し気が楽になっています。

色々なことがありながら、今日

まで続けられるのも健康でいられること、産んでくれた母に感謝しています。良く食べ、良く動き、良く寝る。この三つは私の特技でしょう。好き嫌いなし。家に帰っても、料理、縫物、読書、花の手入れ、ドライブ、布団に入れば3分でOK、目覚まし必要なし。職場では、スタツフ・患者様に助けをいただき、住んでいる所では、周りの皆さんの声かけ、1番は、壮警町の素晴らしい景色、食物、果物。特に春一番のこぶしの花は、厳しい冬の後のオアシスです。少し歩けば山菜が。リスやシカ等の思わぬ発見も沢山あります。

医療の現場では、人員不足や新しい病気のコロナ等、ロボットさんも手伝いはしてもらえませんが、少しでもお役に立てれば、と私が大事にしているスローガンを大切に、頑張りたいと思います。

『心の声に耳を傾けましょう』



編集後記

新型コロナウイルスの影響で1年延期されていた東京五輪・パラの聖火リレーが3月25日から始まり、開会式が行われる7月23日まで、約1万人のランナーが国立競技場までつないでいく。

大会誘致は、JOCをはじめ関係者が総力を挙げて取り組んできた結果だが、国内で開催されることは、大会期間中、寝不足せずに観戦できるのでうれしい限りである。

当初の開催理念は、東日本震災からの「復興五輪」を掲げ、福島原発事故もアンダーコントロールにあることが強調されていた。しかし、五輪準備の為に建築資材が東京へ流れ、震災後10年たつても被災地復興は遅れ、原発事故処理も思うように進んでいない現実がある。

最近、政府は東京五輪開催の意義を「人類がコロナに打ち勝った証し」と言うが、世界中で、まだ感染拡大が続いており、ワクチン接種もままならず、海外観客の受入も断念しなければならぬ中で、果たしてコロナに打ち勝った大会になるのか心配の日々が続く。

(T・M)